

2-7 調査間比較

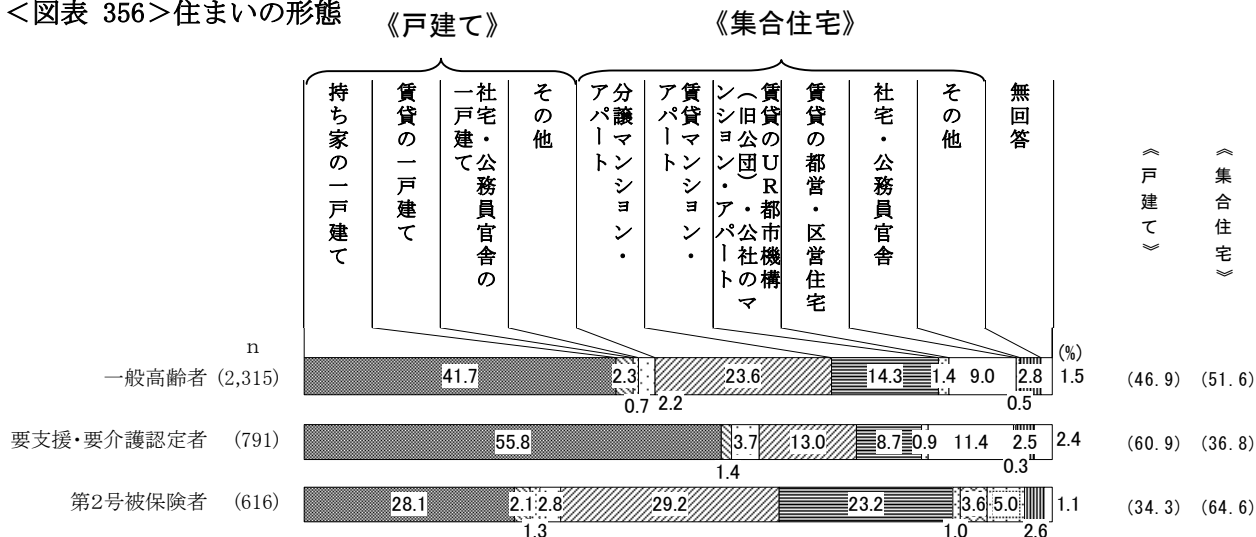
一般高齢者調査、要支援・要介護認定者調査、第2号被保険者調査（一部ケアマネジャー調査を含む）の同一設問に関する調査間比較をした。その結果を以下に示す。

○住まいの形態（一般高齢者：問11 要支援・要介護認定者：問10 第2号被保険者：問10）

問 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。（1つに○）

◆ 《集合住宅》は、第2号被保険者（64.6%）で最も高い

<図表 356>住まいの形態



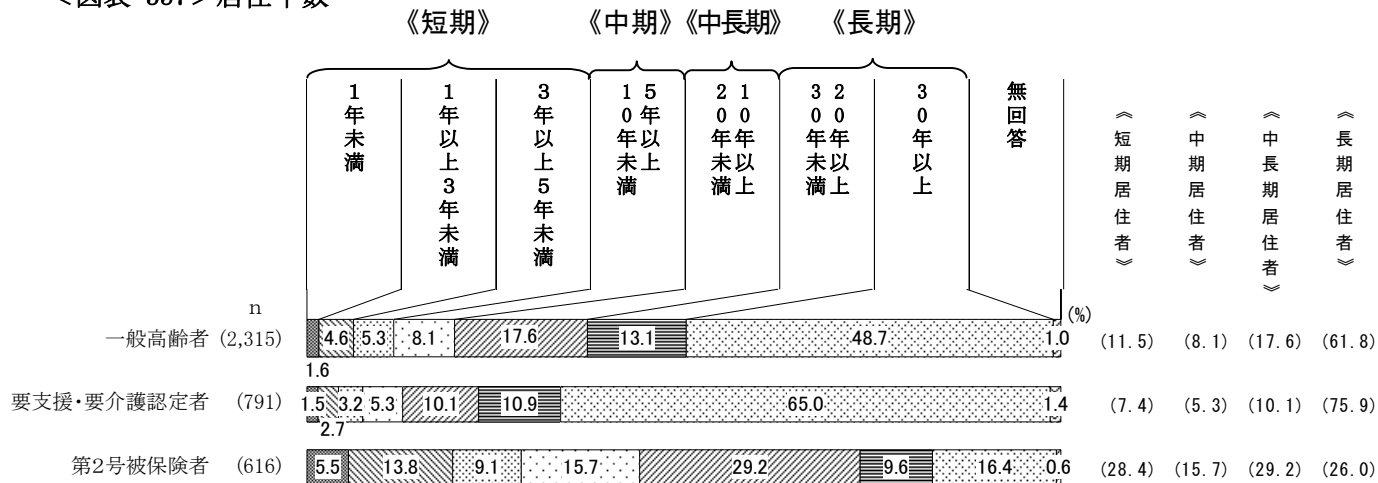
《集合住宅》は、第2号被保険者（64.6%）で6割台半ば近くと最も高く、次いで、一般高齢者、要支援・要介護認定者となっている。一方、《戸建て》は、要支援・要介護認定者（60.9%）で約6割と最も高く、次いで一般高齢者、第2号被保険者となっている。

○居住年数（一般高齢者：問10 要支援・要介護認定者：問9 第2号被保険者：問9）

問 あなたは、現在のお住まいに何年住んでいますか。（1つに○）

◆ 《長期居住者》は、要支援・要介護認定者（75.9%）で最も高い

<図表 357>居住年数



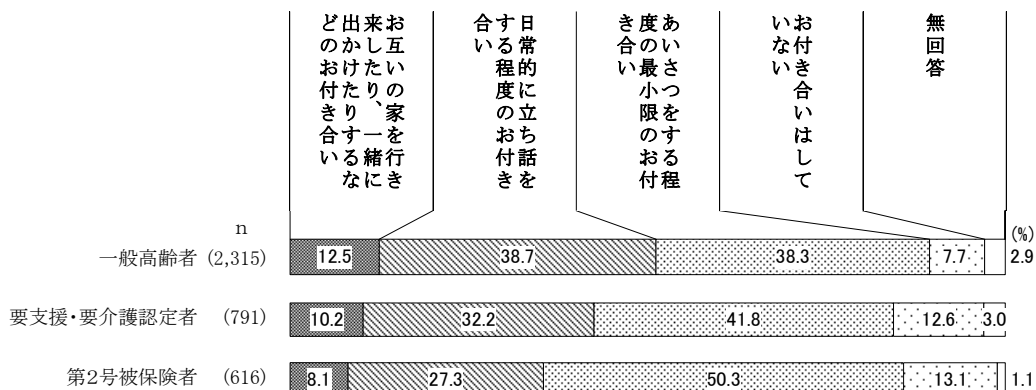
《長期居住者》は、要支援・要介護認定者（75.9%）で7割台半ばと最も高く、次いで一般高齢者、第2号被保険者となっている。一方、《短期居住者》は、第2号被保険者（28.4%）で3割近くと最も高くなっている。

○ご近所付き合い(一般高齢者：問22 要支援・要介護認定者：問13 第2号被保険者：問15)

問 あなたは、近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。(1つに○)

◆ 近所付き合いの程度の深さは、一般高齢者で最も高い

<図表 358>ご近所付き合い



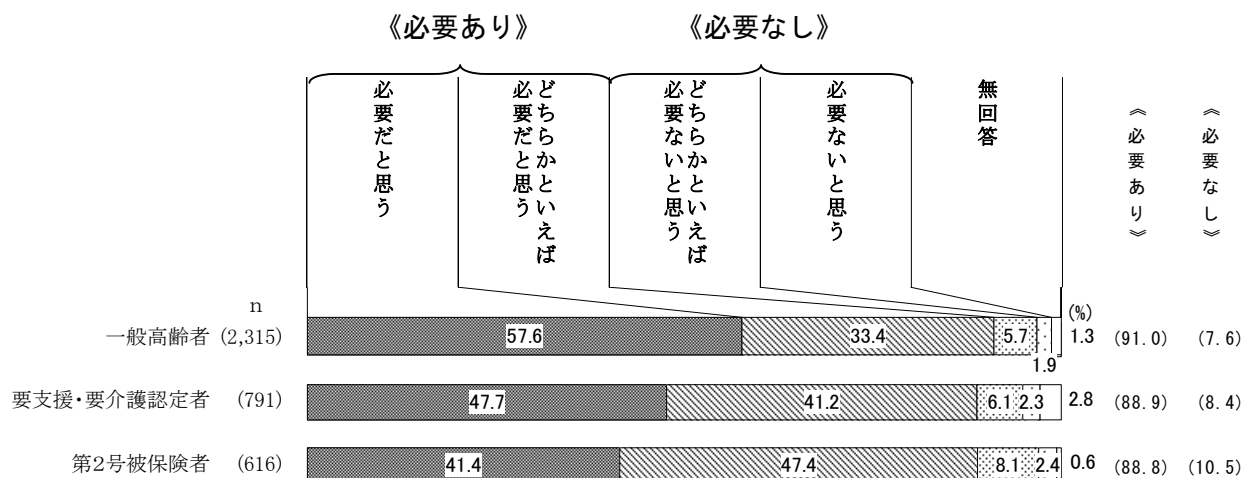
「お互いの家を行き来したり、一緒に出かけたりするなどのお付き合い」「日常的に立ち話をする程度のお付き合い」は、ともに一般高齢者で最も高く、次いで要支援・要介護認定者、第2号被保険者となっている。

○地域のつながりの必要性(一般高齢者：問23 要支援・要介護認定者：問14 第2号被保険者：問16)

問 あなたは、日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）は必要だと思いますか。(1つに○)

◆ 「必要だと思う」は、一般高齢者（57.6%）で最も高い

<図表 359>地域のつながり



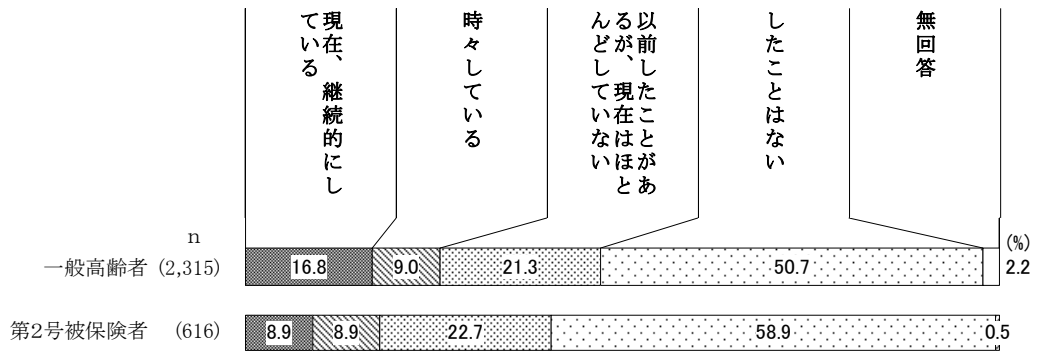
《必要あり》は、一般高齢者、要支援・要介護認定者、第2号被保険者ともに9割前後となっている。また、「必要だと思う」は、一般高齢者（57.6%）で5割台半ばを超え、最も高くなっている。

○地域活動・ボランティア活動の状況（一般高齢者：問25 第2号被保険者：問18）

問 あなたは、現在、地域活動（町会、自治会、子ども会など）やボランティア活動等をして
いますか。（1つに○）

◆ 「現在、継続的にしている」は、一般高齢者のほうが7.9ポイント高い

<図表 360>地域活動・ボランティア活動の状況



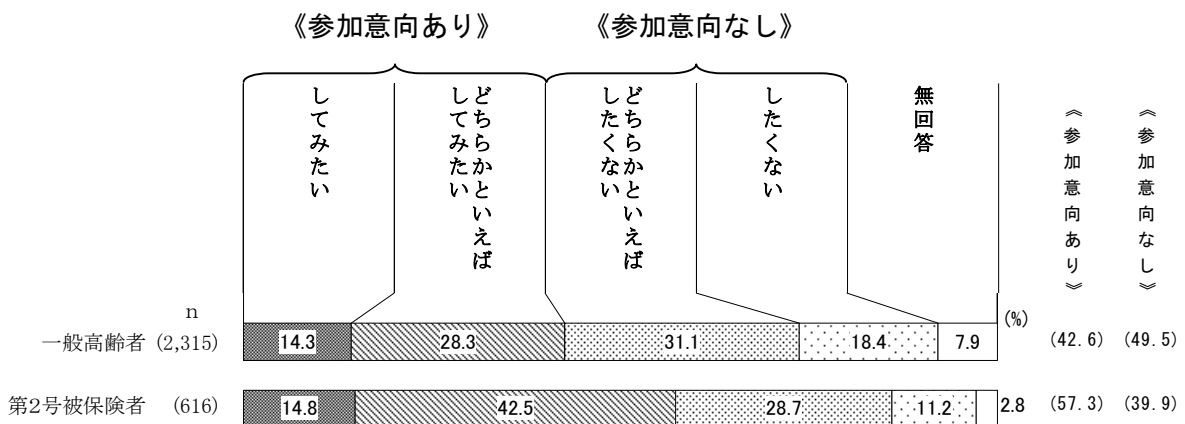
「現在、継続的にしている」は、一般高齢者（16.8%）で1割台半ばを超え、第2号被保険者より7.9ポイント高くなっている。

○今後の地域活動・ボランティア活動への参加意向（一般高齢者：問27 第2号被保険者：問20）

問 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動等をしてみたいですか。（1つに○）

◆ 《参加意向あり》は、第2号被保険者のほうが14.7ポイント高い

<図表 361>今後の参加意向



《参加意向あり》は、第2号被保険者（57.3%）で5割台半ばを超え、一般高齢者より14.7ポイント高くなっている。

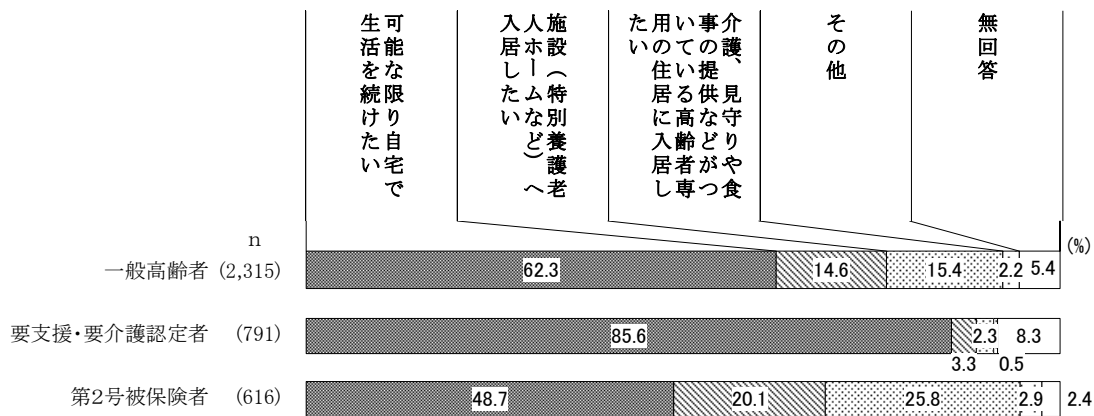
○介護が必要になった場合の生活場所

(一般高齢者：問33 要支援・要介護認定者：問25 第2号被保険者：問28)

問 あなたは、介護が必要になった場合、どこで生活を続けたいと思いますか。(1つに○)

◆ 「可能な限り自宅で生活を続けたい」は、要支援・要介護認定者(85.6%)で最も高い

<図表 362>介護が必要になった場合の生活場所



「可能な限り自宅で生活を続けたい」は、要支援・要介護認定者(85.6%)で最も高く、次いで、一般高齢者、第2号被保険者となっている。

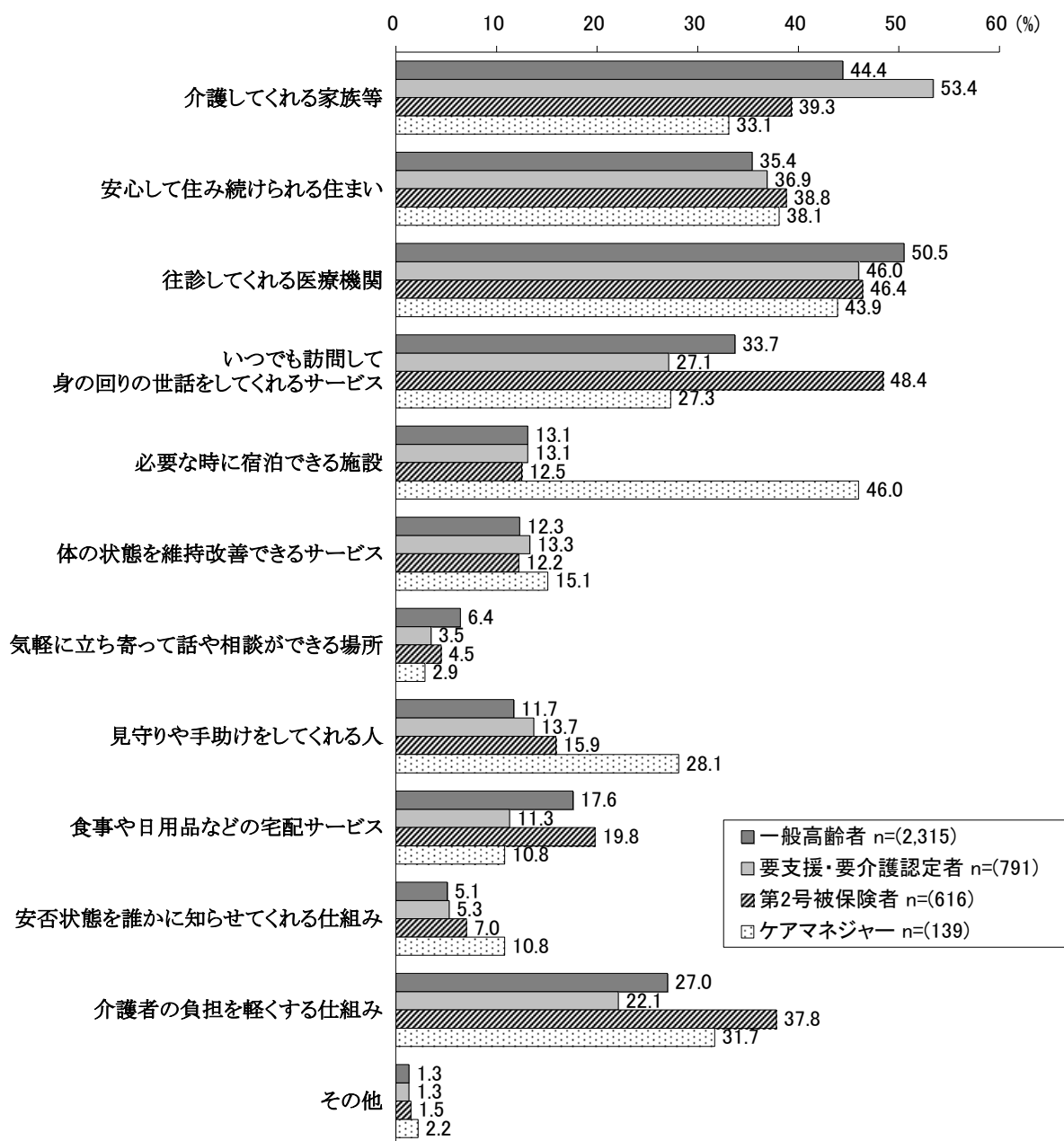
○介護や医療が必要になっても在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うもの

(一般高齢者：問35 要支援・要介護認定者：問26 第2号被保険者：問30 ケアマネジャー：問23)

問 介護や医療が必要になっても、在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

◆ 一般高齢者、要支援・要介護認定者、第2号被保険者、ケアマネジャーで、それぞれトップが異なる

<図表 363>在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うもの



一般高齢者では、「往診してくれる医療機関」(50.5%)、要支援・要介護認定者では、「介護してくれる家族等」(53.4%)、第2号被保険者では、「いつでも訪問して身の回りの世話をしてくれるサービス」(48.4%)、ケアマネジャーでは、「必要な時に宿泊できる施設」(46.0%)がそれぞれ最も高くなっている。

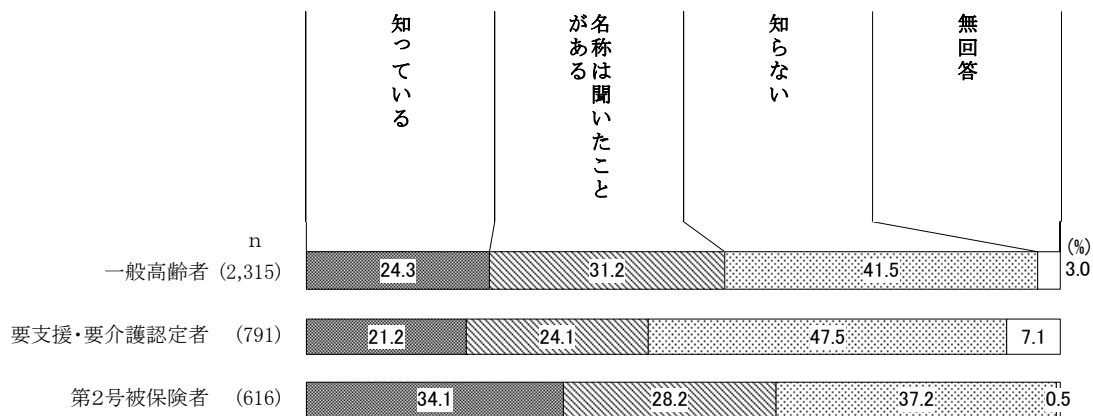
○がんの「緩和医療・ケア」の周知状況

(一般高齢者：問36 要支援・要介護認定者：問27 第2号被保険者：問31)

問 あなたは、がんの「緩和医療・ケア」について、ご存じですか。(1つに○)

◆ 「知っている」は、第2号被保険者 (34.1%) で最も高い

<図表 364>がんの「緩和医療・ケア」の周知状況



「知っている」は、第2号被保険者 (34.1%) で3割台半ば近くと最も高く、次いで、一般高齢者、要支援・要介護認定者となっている。

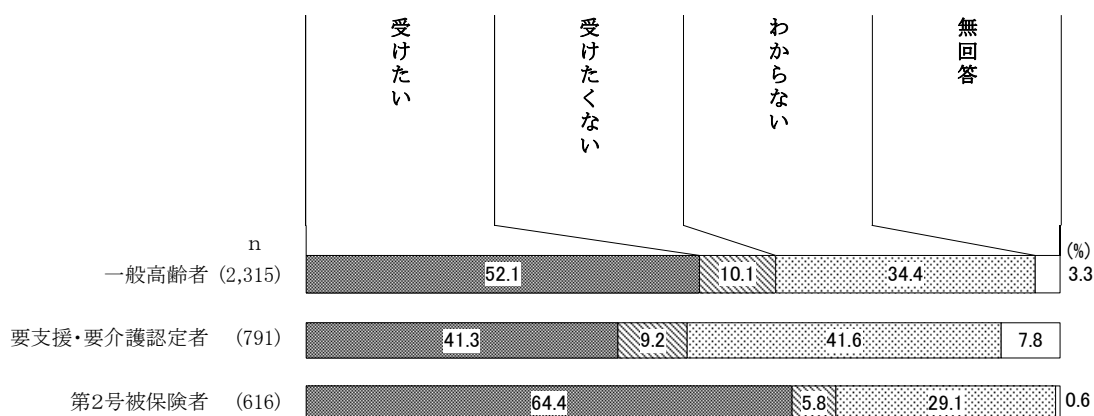
○がんの「緩和医療・ケア」の利用意向

(一般高齢者：問37 要支援・要介護認定者：問28 第2号被保険者：問32)

問 あなたは、がんで、病状の回復が期待できない場合、「緩和医療・ケア」を受けたいですか。(1つに○)

◆ 「緩和医療・ケア」の利用意向は、第2号被保険者 (64.4%) で最も高い

<図表 365>がんの「緩和医療・ケア」の利用意向



「受けたい」は、第2号被保険者 (64.4%) で6割台半ば近くと最も高く、次いで、一般高齢者、要支援・要介護認定者となっている。

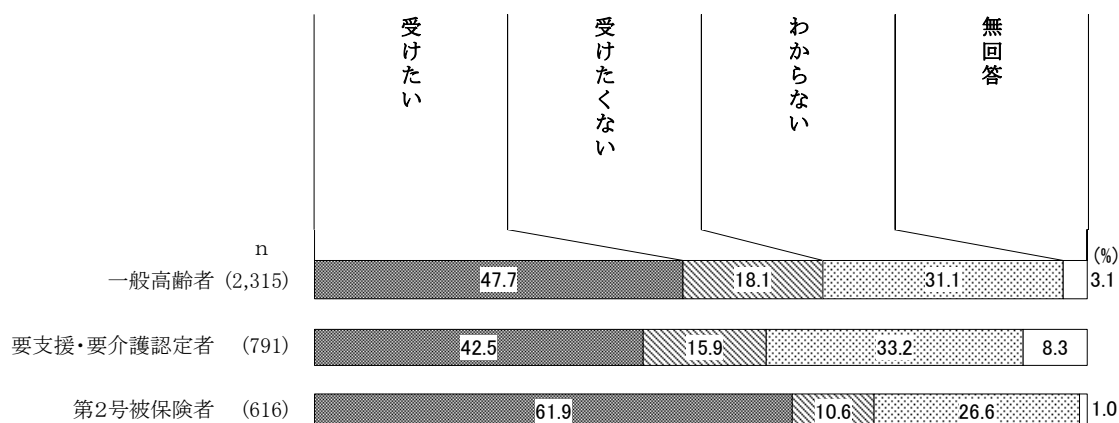
○がん以外の病気での症状緩和を主とした医療・ケアの利用意向

(一般高齢者：問38 要支援・要介護認定者：問29 第2号被保険者：問33)

問 あなたは、さらに高齢になり、がん以外の病気で、病状の回復が期待できない場合、症状の緩和を主とした医療・ケアを受けたいですか。(1つに○)

◆ 医療・ケアの利用意向は、第2号被保険者(61.9%)で最も高い

<図表 366>がん以外の病気での症状緩和を主とした医療・ケアの利用意向



「受けたい」は、第2号被保険者(61.9%)で6割強と最も高く、次いで、一般高齢者、要支援・要介護認定者となっている。

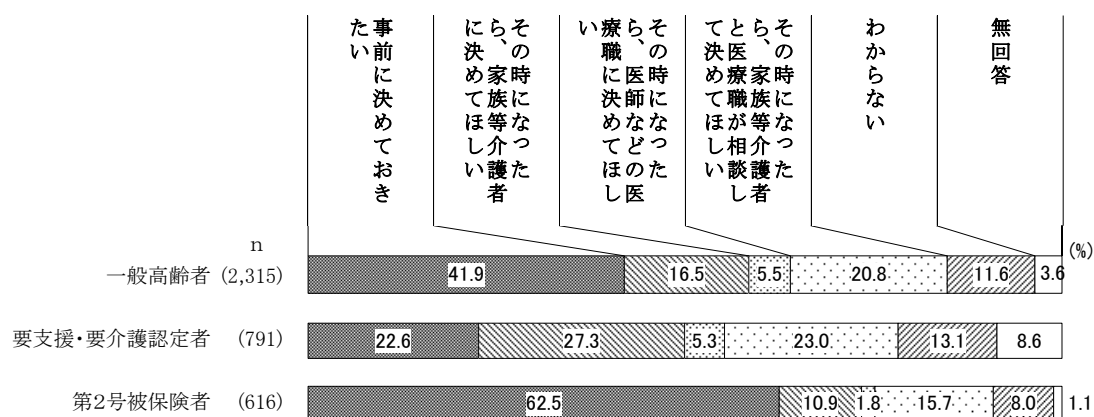
○自身で判断できなくなったときの医療・介護

(一般高齢者：問39 要支援・要介護認定者：問30 第2号被保険者：問34)

問 あなたは、ご自身で判断できなくなったときの医療や介護を、どのようにしたいですか。(1つに○)

◆ 「事前に決めておきたい」は、第2号被保険者(62.5%)で最も高い

<図表 367>自身で判断できなくなったときの医療・介護



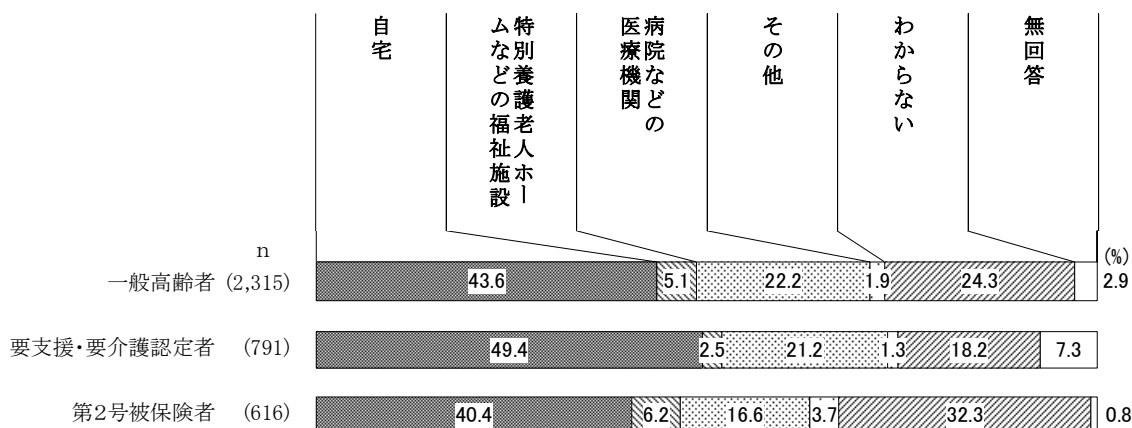
「事前に決めておきたい」は、第2号被保険者(62.5%)で6割強と最も高く、次いで、一般高齢者、要支援・要介護認定者となっている。

○最期を迎えたい場所(一般高齢者：問40 要支援・要介護認定者：問31 第2号被保険者：問35)

問 あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)

◆ 「自宅で最期を迎えたい」は、要支援・要介護認定者(49.4%)で最も高い

<図表 368>最期を迎えたい場所



「自宅」は、要支援・要介護認定者(49.4%)で5割弱と最も高く、次いで、一般高齢者、第2号被保険者となっている。

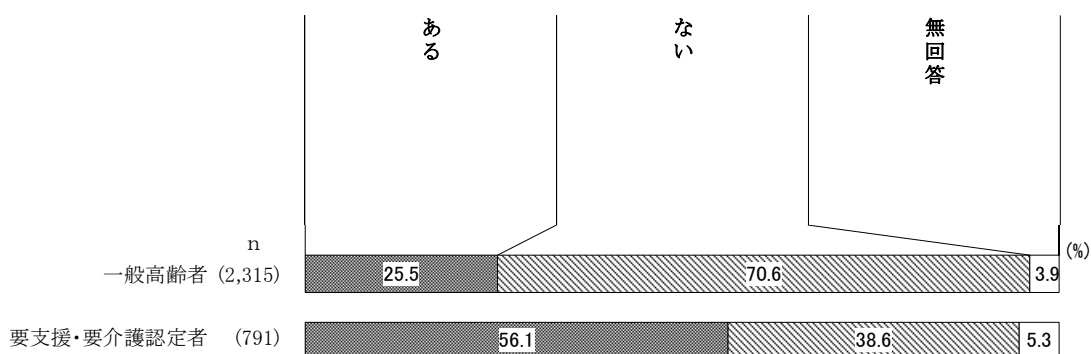
○この1年間の物忘れや理解力、判断力の低下の状況

(一般高齢者：問42 要支援・要介護認定者：問35)

問 あなたは、この1年間に何度も、物忘れに加えて、理解・判断力の低下などを感じることがありますか。(1つに○)

◆ 理解・判断能力の低下を感じる(ある)は、要支援・要介護認定者のほうが30.6ポイント高い

<図表 369>理解・判断能力の低下



「ある」は、要支援・要介護認定者(56.1%)で5割台半ばを超え、一般高齢者より30.6ポイント高くなっている。

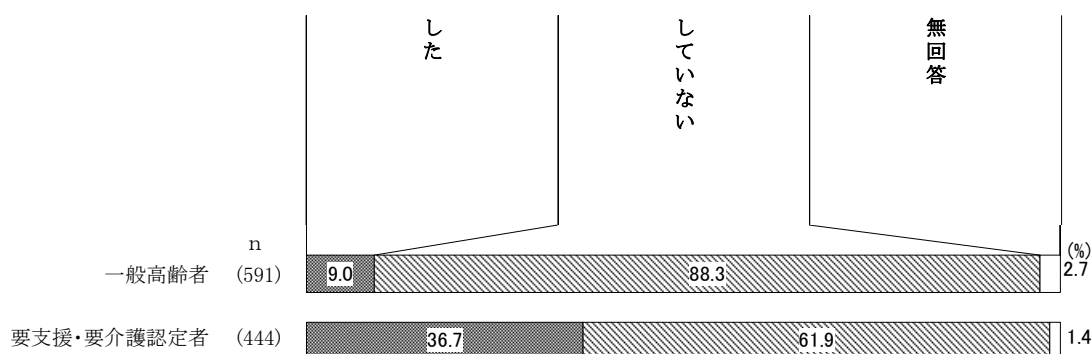
○物忘れや判断力の低下についての相談先

(一般高齢者：問42-1 要支援・要介護認定者：問35-1)

問 物忘れや理解・判断力の低下などについて、どこかへ相談しましたか。(1つに○)

◆ 相談した割合は、要支援・要介護認定者のほうが27.7ポイント高い

<図表 370>相談状況



「した」は、要支援・要介護認定者（36.7%）で3割台半ばを超え、一般高齢者より27.7ポイント高くなっている。

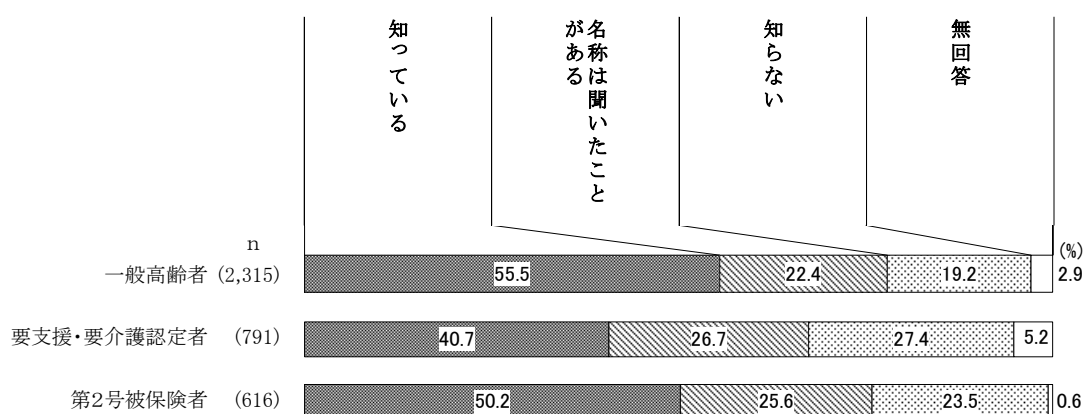
○「成年後見制度」の周知状況

(一般高齢者：問46 要支援・要介護認定者：問32 第2号被保険者：問25)

問 あなたは、認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」をご存じですか。(1つに○)

◆ 制度を「知っている」は、一般高齢者（55.5%）で最も高い

<図表 371>「成年後見制度」の周知状況



「知っている」は、一般高齢者（55.5%）で5割台半ばと最も高く、次いで、第2号被保険者、要支援・要介護認定者となっている。

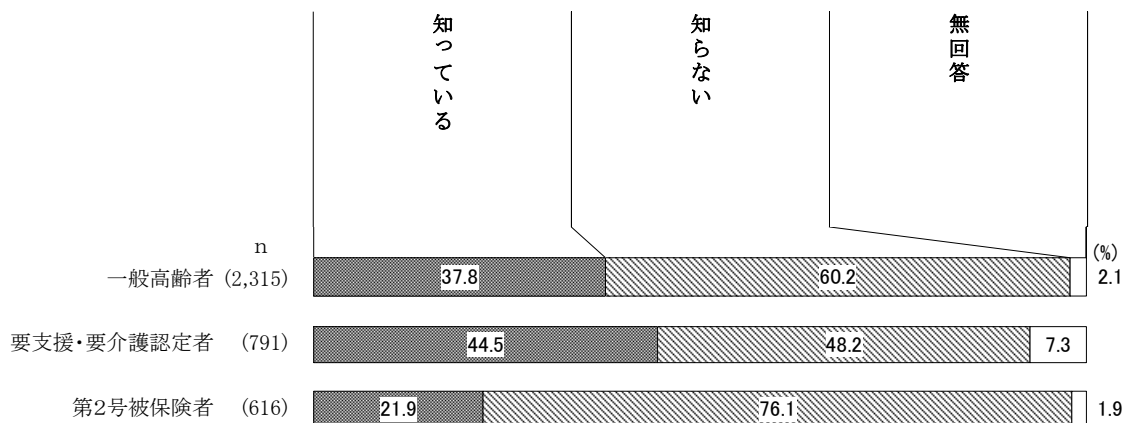
○高齢者総合相談センターの『名称』の周知状況

(一般高齢者：問51 要支援・要介護認定者：問39 第2号被保険者：問38)

問 あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称をご存じですか。(1つに○)

◆ 名称の認知度は、要支援・要介護認定者 (44.5%) で最も高い

<図表 372>名称の周知状況



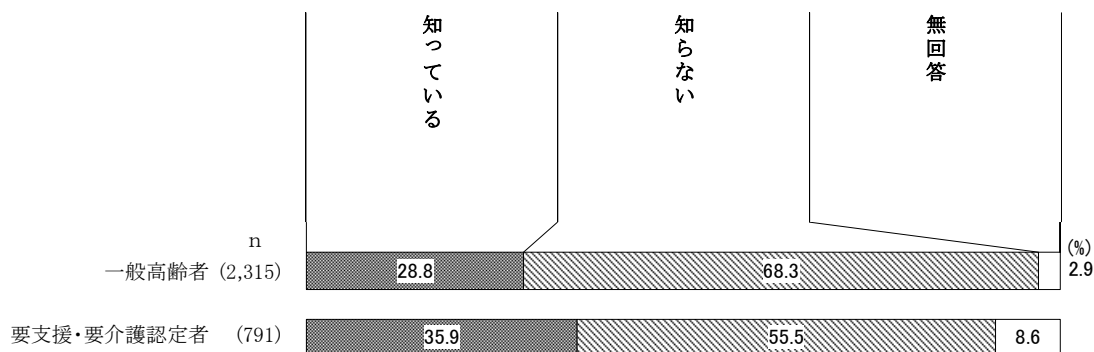
名称を「知っている」は、要支援・要介護認定者 (44.5%) で最も高く、次いで、一般高齢者、第2号被保険者となっている。

○高齢者総合相談センターの『機能』の周知状況(一般高齢者：問52 要支援・要介護認定者：問40)

問 あなたは、「高齢者総合相談センター」の機能をご存じですか。(1つに○)

◆ 機能の認知度は、要支援・要介護認定者 (35.9%) のほうが7.1ポイント高い

<図表 373>機能の周知状況



機能を「知っている」は、要支援・要介護認定者 (35.9%) で3割台半ばとなっており、一般高齢者より7.1ポイント高くなっている。

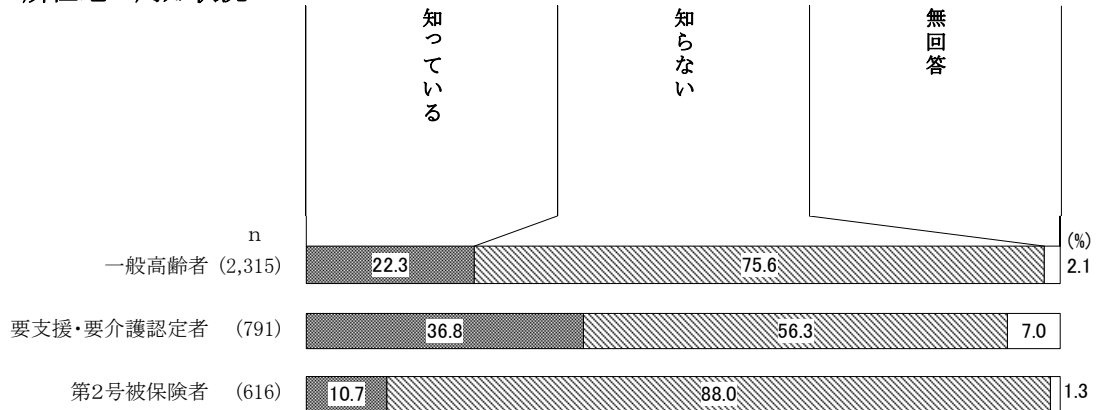
○高齢者総合相談センターの『所在地』の周知状況

(一般高齢者：問53 要支援・要介護認定者：問41 第2号被保険者：問40)

問 あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるかご存じですか。(1つに○)

◆ 所在地の認知度は、要支援・要介護認定者 (36.8%) で最も高い

<図表 374>所在地の周知状況



「知っている」は、要支援・要介護認定者 (36.8%) で3割台半ばを超え最も高く、次いで、一般高齢者、第2号被保険者となっている。

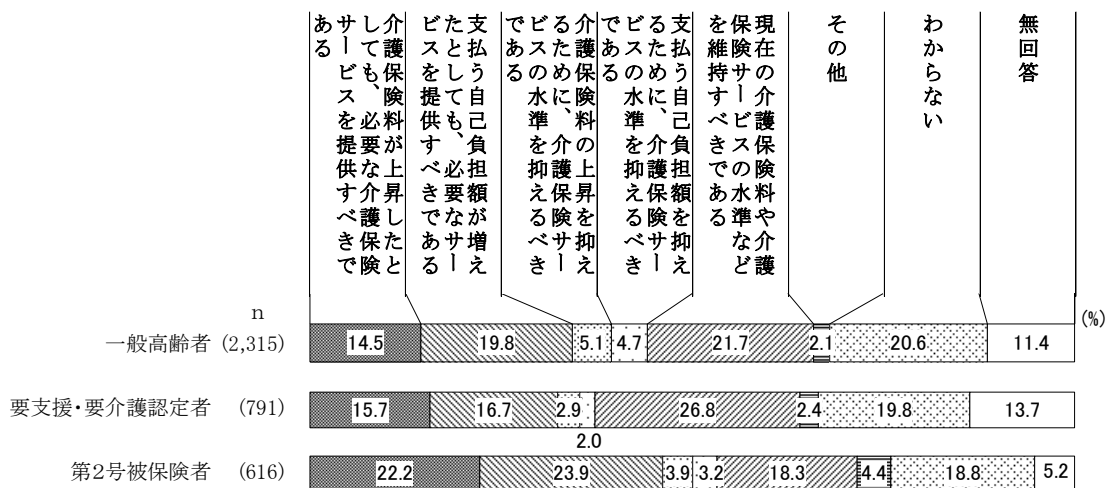
○介護保険のサービスと保険料についての考え

(一般高齢者：問41 要支援・要介護認定者：問36 第2号被保険者：問36)

問 介護保険のサービスと保険料について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(1つに○)

◆ 現状を維持すべきとの考えは、要支援・要介護認定者 (26.8%) で最も高い

<図表 375>介護保険のサービスと保険料についての考え



一般高齢者及び要支援・要介護認定者では、「現在の介護保険料や介護保険サービスの水準などを維持すべきである」(それぞれ21.7%、26.8%)が最も高く、第2号被保険者では、「支払う自己負担額が増えたとしても、必要なサービスを提供すべきである」(23.9%)が最も高くなっている。

